

会 議 録

- 1 会議名
第3回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議
- 2 議題
 - 1) 開会（公開）
 - 2) 議題（公開）
 - 第2回まちなみ検討会議（前回）の確認
 - 個別施設の機能検討（動線計画・施設計画）
 - 個別施設のイメージ検討
 - 意見交換
 - 3) その他
 - 4) 閉会
- 3 開催日時
平成21年9月4日（金）午前10時から
- 4 開催場所
ラーバンセンター 第4研修室
- 5 傍聴人の数
3人
- 6 非公開の理由
なし
- 7 出席した人（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

委員	飯塚むつこ、伊藤えり子（代理：伊藤春男）、内山勇人、大島政義（代理：八木文夫）、黒野弘靖、関由有子、田中弘邦、平野仁、水野一郎、本山雅彦
オブザーバー	奥野賢新潟県都市政策課長（代理：田中雅史同主任）、戸松裕新潟県交通政策課長（代理：竹下智之同主任） 西田聡JR東日本新潟支社企画室長（代理：齋藤浩同主席） 佐藤正人鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長（代理：佐藤行雄同計画課長補佐）、上野圭一同計画課担当係長
事務局（上越市）	竹田淳三企画・地域振興部長、宮崎豊新幹線・交通政策課長、瀧本幸次同副課長、伊藤伸同係長、飯塚賢治同主任、岩澤紀之同主任、渡来美香同主任、長谷川謙都市計画課係長、山辺志信新幹線新駅周辺整備課主任、中村直人教育委員会生涯学習推進課主任
委託業者	八千代エンジニアリング株式会社

8 発言の内容

(1)開会 (企画・地域振興部長より挨拶)

(2)議事

第2回まちなみ検討会議(前回)の確認、個別施設の機能検討、個別施設のイメージ検討について (事務局より次について説明)
第2回まちなみ検討会議(前回)の確認
個別施設の機能検討
個別施設のイメージ検討

(水野座長) 事務局から資料の説明があった。質問があればお願いしたい。

(平野委員) 利用者の目線として、また地元の人々の目線として、駅前広場空間のユニバーサルデザインを考える必要がある。除雪等の積雪対策についてはどのように考えているのか。

(事務局) 主に融雪を考えているが、様々な工法があることから、現在、検討中である。この場所は雪が多いため、融雪だけで対応できる限度もあり、除雪などの併用も考えている。

(伊藤委員) 妙高山を借景とするような計画であるが、妙高市側の意見は聞かないのか。駅名についての要望もあったと記憶しているが。

(事務局) 広場の動線や機能については、これまでに2市で協議をしてきており、その結果を反映している。また、広場のデザイン構想としては借景だが、これについては、妙高市側の意向は考慮しなくてもよいと考えている。

(水野座長) 今回の検討は、駅舎デザインの検討、駅前広場及び街区公園など公共空間の検討、その先のエリアまで含めたまちなみ検討の3段階がある。

駅舎デザインの決定は先のことであり、鉄道運輸機構が検討するため、この会議では、要望として意見を取りまとめることとなる。

一方、駅周辺の民地については区画整理により進められており、民間側には民間の活力を活かした中で検討が行われ

る。このため、本会議としては、駅前広場及び街区公園などの公共空間が唯一すべてを考えて良い空間である。

なお、資料 において説明があったが、機能性がよければ上越らしさは無くても良い、ということではない。機能性と地域性は共存すべきと考える。

(平野委員) 上越地域は降雨量・降雪量が多く、ユニバーサルデザインの観点から駅広ロータリーからバス・タクシー乗降場には屋根を配置して欲しい。屋根のデザインは上越らしく、出来れば『雁木』のイメージとして欲しい。

また、コンサルから公園の素晴らしいデザイン案が提出されているが、東西街区公園は(駅までの近道のため)地元住民の方々の通勤・通学路として使用されることが推測されるので、通勤・通学路として安全で利便性を考慮した設計にして欲しい。

(水野座長) 街区公園は交通空間を兼ねているので、普通の公園ではなく広場に近い印象となるだろう。

東西ともに新幹線ホームから街並みが見え、自由通路からも家並みの向こう側に山並みが見えることになる。

本日の検討は、資料 からということになる。

本日の議題は、一体的な利用を重視しつつ、機能も充実している空間づくりにある。駅前広場をどのようにつくっていくかが、地域の力・個性の見せ場である。

(本山委員) 駅機能としては、機能重視も一体利用もそれほど違いがないということであるが、どこかに上越らしさをだせないかと考えている。

つまり、積雪の期間は短くなっているものの、上越はやはり雪とは切っても切り離せない。駅前面の広場空間は必要なのだろうか。駅から繋がるように屋根をかけ、そこに車が寄りつくようにしてはどうか。都心部の一部の駅は別として、中間駅の1階部分は閑散としていることが多く、無駄な空間になることが多いので、乗降空間として利用してはどうか。

高架下を車が全て進入できる空間とするか、駅の直前で乗降できれば、利便性の高い空間となる。

(水野座長) 大胆な提案である。新幹線の1階レベルは市の土地とJRの土地の使い分けがあると思うが、どのようになっているのか。

(機構) そのような事例は無い。駅施設は必要最小限を機構で整備し、JRにお貸しすることになる。1階レベルの使い方はJ

Rの判断になると考えられる。

(水野座長) 1階レベルの使い方であるが、資料の5ページでみると東口の階段やエレベーターが駅前広場内となっている。これを新幹線1階に納めることはできないのか。そうすると、新幹線の下で雨や雪を凌ぐことができる。また、商業空間としても可能性が広がる。

(機構) 用地の問題を協議しないといけない。また、工事も進んでいるため、構造の見直しが必要となる。階段は広い面積を使うわけではないので、工程や設計、お金の問題が生じるため、市との協議が必要。ただ、可能性がないわけではない。

(水野座長) この場で結論は出ないと思うので、持ち帰って検討を行って欲しい。本会議として要望を出したいと思う。

(田中委員) 確かに駅構内で交通動線を処理できるほうが望ましい。機構にはぜひ検討してもらいたい。

現在、駅側の計画状況はどのようになっているのか。

(機構) 基本的な駅舎計画は終わっている。階段の利用形態については、市との協定をもって進めているところである。

(事務局) 駅舎そのものは工事認可について新潟県からの返事がきていないため、駅舎設計に入れられない状況である。そのため、駅舎については年明けもしくは年度明けに案を提示できるようなスケジュールになると考えられる。

階段等の昇降施設については協定を結んでいるが、当該時点では鉄道内の利用が決まらなかったため、現在のような計画となっている。

(水野座長) 以上、一つ目の意見として、駅の階段と広場の関係についてだった。

二つ目の意見として、積雪や降雨対応として屋根を掛けるという意見である。私が手がけた例で言えば、金沢駅東口にガラスドームをつくったのも、金沢市は日本海側の県庁所在地で最も雨や雪が多いからだ。雁木風に行くか、未来的な整備イメージでいくか、いずれにしても、機能という面ではこれも1つの雪国らしさになる。

(関委員) 上越らしさという意味で、皆さんは雁木という意見があった。屋根は、冬は雨雪よけ、夏は日よけで重宝しており、非常に大事。大スケールの広場と、雁木という小さいスケールを上手に組み合わせられないか。

というのも、大スケールで整備すると、雪が吹き込んでし

まい、意味がない。屋根はつながっていることに意味がある。駅舎から広場まで中間スケールの屋根で覆い、乗車口はヒューマンスケールとするなどの工夫が必要だと思う。

それと、都心から来る方は長靴では来ない。ロータリー全部は無理としても、タクシーの乗降場所くらいは屋根で覆うことができる、「上越らしいおもてなし」ができるのではないか。

(内山委員) 基本的には同意見である。基本に立ち返ると、そもそも、この駅は誰に使ってもらうか、ということを見ると、他地域の人が訪れる駅となって欲しい。地域の人に不便な駅では困るが、外から来る人にとってこそ使いやすい駅とするべきだと思う。

西口の公園についても、誰に見せるか、誰が喜ぶかということを考える必要がある。妙高山はたしかに素晴らしいが、地元の人が見て楽しむ山並みではなく、他地域の方が来られた時に喜ぶものだろう。外部の人に「また来たい」と思ってもらえるような、ホスピタリティが感じられるものにして欲しい。

(飯塚委員) 皆さんの意見はよくわかる。まちなみという観点から言えば、雁木のまちなみを地域の特徴として残して欲しい。

また、期間は短くても雪は降る。雪は地域を代表するものであり、かえって売りになる。先日、東京で上越のイメージについてアンケートをとったが、雪、米、酒の回答が多かった。雪を美しく見せたり、楽しめるようにできないか。また、冬期に靴で訪れても濡れずに移動できるような空間が欲しい。

(八木委員) ここはもともと雪の多い地域であることから、積雪への対応を重視して欲しい。駅とシェルターを結ぶような施設があるとよいのではないか。

(伊藤委員) 断面図を見ると、高架脇で駐車場に繋がっているが、高架下で駐車場利用ができるようにして欲しい。出張等で2～3日止めておくと雪が積もってしまう。

(水野座長) 高架下の利用については結論がでないと思うが、要望として提案していく。

(黒野副座長) 上越らしさということであれば、やはり雪のことを考えるべきである。また、広場との一体感を持たせた方が良い。動線が建物沿いに来るのであれば、隣接する商業地の方にも協力してもらえれば、より良くなるだろう。このときに市の制

度を利用して商業地側にも助成ができれば、現実味が高くなる。

(水野座長) 商業施設側から雁木を持ったほうが良いということや、駅前広場側でも屋根掛けという話が出ているので、次回会議で議論していく。

東西の街区公園について、上越らしさという点での提案はいかがか。

(伊藤委員) いろいろなものを盛り込むよりは、桜なら桜を見せる、というように、すっきりとさせたほうが良い。また管理しやすさも含めて考える必要がある。

(内山委員) スペースがあるならば、観光客に目を向け、思い切って春日山城を再現するなど考えられる。広場は樹木だけということでは無いと思う。

(関委員) 本日の説明で、西口の自由通路から釜蓋遺跡方面を見たイメージシミュレーションがあった。8階建てのビルも想定できるので、今後の検討課題になると思う。民地については、高さだけではなく、屋上や屋根面の見え方も重要だと思う。例えば、屋上に駐車場を持つビルができれば、ホームなどからは丸見えになる。設備機械なども含めて高い場所からの見え方にも配慮し、対応してくれる民間側には補助等を行えれば、民間側も協力してくれるのではないだろうか。

(黒野副座長) 街区公園については、周辺に商業施設が建ち、そこにどのように行くか、どのように見えるか、というように、まわりとの繋がりを重視すべきだろう。

(飯塚委員) 資料では釜蓋遺跡公園の入口に「ガイダンス施設」とあるが、ここには建物が建つのか。

(教育委員会) 建物も含めて検討を行うこととなる。釜蓋遺跡だけでなく、市全体の歴史文化を総合的に発信する場として考えていきたい。

(飯塚委員) 全てが建物になるのは好ましくない。緑地的な所も取り入れ、連携が図れるようにして欲しい。

(水野座長) 何らかの連携をお願いしたい。事務局からの説明にあったが、駅前広場と街区公園については一体化していくほうがよいと考えられる。

オブザーバーである県からの意見はいかがか。

(新潟県) 特にない。

- (機構) 確認だが、資料中の断面図において、自由通路に屋根が書かれていないが、屋根は掛けるのか。
- (事務局) 当該図面は少し古い資料のため、このようになっている。この図では屋根は省略しているが、掛ける予定である。
- (飯塚委員) シェルターも雁木風のイメージが良い。
- (本山委員) 先日、浦和駅にいったが、雨が横から降ってくるような状況であった。単に屋根が繋がっているというだけでなく、このような点も考慮して欲しい。本当は、広場全体に屋根がかけられればよいのだが。
- (水野座長) 本日の会議を総括すると、機能性と地域性の両立を図りつつ、駅前広場と街区公園の一体的利用を考えていく必要がある。B案(2案目)を基本とし、機能性、地域性を両立させる方向で検討して欲しい。また、ホーム下の利用についても機構の方から検討をお願いしたい。

(3)その他 (特になし)

(4)閉会 (事務局より閉会)

9 問合せ先

企画・地域振興部新幹線・交通政策課 TEL : 025-526-5111 (内線 1851)

E-mail : kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。

第3回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

出席者名簿

氏名	在籍等	出欠等
飯塚 むつこ	会社経営、カラーコーディネーター	出席
伊藤 えり子	(株)英香園取締役	代理
内山 勇人	上越青年会議所理事長	出席
大島 政義	和田地区振興協議会会長 上越市北陸新幹線建設促進まちづくり協議会会長	代理
黒野 弘靖	新潟大学工学部建設学科 准教授	出席
関 由有子	せきゆうこ設計室主宰、一級建築士	出席
田中 弘邦	上越商工会議所会頭、上越観光コンベンション協会会長	出席
平野 仁	会社役員	出席
水野 一郎	金沢工業大学環境・建築学部教授	出席
本山 雅彦	(株)JTB 関東上越支店長	出席

オブザーバー

氏名	在籍等	出欠等
奥野 賢	新潟県土木部都市局都市政策課長	欠席
田中 雅史	" " " 主任	代理
戸松 裕	" 交通政策局交通政策課長	欠席
竹下 智之	" " " 主任	代理
西田 聡	JR東日本新潟支社企画室長	欠席
齋藤 浩	" " 主席	代理
佐藤 正人	鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長	欠席
佐藤 行雄	" " 計画課課長補佐	代理
上野 圭一	" " 計画課担当係長	出席

上越市(事務局)

氏名	在籍等	出欠等
竹田 淳三	企画・地域振興部長	出席
宮崎 豊	" 新幹線・交通政策課長	出席
瀧本 幸次	" 新幹線・交通政策課副課長	出席
伊藤 伸	" 新幹線・交通政策課係長(新幹線・並行在来線担当)	出席
飯塚 賢治	" 新幹線・交通政策課主任	出席
岩澤 紀之	" 新幹線・交通政策課主任	出席
渡来 美香	" 新幹線・交通政策課主任	出席
奥田 博	都市整備部都市計画課長	代理
市川 公男	" 新幹線新駅周辺整備課長	代理
中西 聡	教育委員会生涯学習推進課副課長	代理
委託業者	八千代エンジニアリング株式会社	出席